第三種郵便物承認　ＨＳＫ　通巻２３８８号　2008年9月１５日発行

一九九四年八月四日　第三種郵便物認可
ＨＳＫ　毎月十二回（一・三・五・八・十・十一・十五・十八・二十・二十三・二十五・二十八日）発行

ＨＳＫ
会報「石　川　守　る　会」

No.４２

石川県重症心身障害児(者)を守る会
全国重症心身障害児(者)を守る会
石川県支部　　会長　山本　　衛

毎日暑い日が続いておりますが会員の皆様方、お子様方はお元気でしょうか。今年もまた昨年のように酷暑の夏となりそうです。健康管理には十分ご注意なさってください。

さて今号より会報の送付方法が変わりました。「北陸障害者定期刊行物協会」に加盟いたしました。帯封にて送ることで郵送料の節約にもなります。会員の皆様にはご理解いただきたく思います。

平成20年度　石川守る会総会の報告

去る５月 11 日医王病院の会議室をお借りして今年度の総会が開催されました。出席者は 28 名、委任状 26 通で総会は成立しました。開会に先立ち医王病院院長の奥田先生から新しい医王病院の方向性などについてお話がありました。

病棟新築に伴い入院環境が大きく改善されて、安心で安全な療養生活が送れるようになることを期待しているとのお話でした。

また、重症障害児（者）医療の専門病院としてＮＩＣＵやＩＣＵの後方支援としての役割も果たしたいとのことでした。

ＮＩＣＵやＩＣＵから在宅へ向かう子どもたち支援に力を入れることとあわせて、在宅の重症心身障害児（者）の支援として短期入所やディサービスやＢ型通園も充実したいとのことでした。「守る会」の会員のお子様たちも医療的な

第三種郵便物承認　ＨＳＫ　通巻２３８８号　2008年９月15日発行

一九九四年八月四日　第三種郵便物承認
ＨＳＫ　毎月十二回（一・三・五・八・十・十二・十五・十八・二十・二十二・二十五・二十八日）発行

～保護者研修会のお知らせ～

今年度の「保護者研修会」の日程が決まりました。

日　時　　10月19日（日）　10時~14時30分
場　所　　石川県立医王養護学校体育館
講　師　　玉鉾晴美さん　他石川県レクリエーション協会の方
テーマ　　親子で楽しむレクリエーション実技
みんなで身体と心を動かして楽しい時間を過ごしましょう。
また、手軽にできる遊びも教えてもらいましょう。
*詳細は次号でお知らせしますので予定をあけておいてください。

次の方々より「石川守る会」にご寄付ならびに賛助会費の納入がありました。
障害の重い子どもたちの幸せのために有効に使わせていただきます。
ありがとうございました。

皆川光男様、山本衛様、中川峻一様、越坂由紀子様、城悦子様、松田美枝様
大野木春男様、益子佳苗様、山下辰夫様
西脇瑞枝様、板野かず子様、中田勝久様、広岡立美様、寺島笑子様、山畑寿美子様、山本久男様、大友順治様、音弘志様、星山敬俊様、若村修様、
山本信一様、犀川朋子様、新保祐美子様、今井千代子様、西田淳子様

会員の現況
正会員　　81名
賛助会員　25名

編集人：　石川県重症心身障害児（者）を守る会
連絡先：　〒929-0123　石川県能美市中町ツ88-1
ＴＥＬ（０７６１）５６－０６１０
会長　　山本　衛
発行人：　北陸障害者定期刊行物協会
富山市今泉３１２番地
定　価：　30円

ニーズが高くなってきており、質の高い医療も必要となってきています。
患者さんの立場に立った配慮のある病院となるように私たちも期待しています。
事務長さんからはボランティア団体に加盟して、生活支援（移送ボランティア、外出支援）にも取り組んでいるとのお話がありました。
当会・北陸ブロック長の山田さんからは児童福祉法の見直しに関しての「守る会」としての考え方などが話されました。
総会では「東海・北陸ブロック大会」の成功をはじめ全国やブロックの各種大会への参加や行政担当者の方々との懇談やレスパイト事業「ハートポッポ」など昨年度の事業報告がされました。
今年度の事業計画では保護者研修の開催をはじめ各種事業の取り組みが提案され承認されました。
また、役員については長年、事務局長として本部やブロックとの連絡、支部の活動の推進など多くの業務で「石川守る会」を支えてくださった退任され、その後を表真奈美さんと紺井好美さんが引き継いでくださいました。
会計の梶田理子さんと会計監査の隅田陽子さんにも長い間財政活動を支えていただきましたがこのたび退任されました。新しい会計として山岸郁代さん、会計監査として東幸雄さんが就任されました。
長い間会のためにご尽力いただいた皆さん本当にありがとうございました。
新しく就任された皆さんには大変だとは思いますがよろしくお願いします。

その他意見交換として、会員の永井さんから、金沢市の在宅でアラームつきパルスオキシメーターを使っている方に４月より接続部分の補助が出るようになったことが報告されました。
医王病院のほうから重度の在宅の方々のための障害児（者）ディサービスとＢ型通園事業についての説明がありました。
今年度もみんなで協力し合いながら「守る会」の運動を広げていきたいと思いますのでよろしくお願いします。

全国大会札幌大会石川支部より２名参加

６月21日~22日まで北海道札幌市で開かれた全国大会に山本会長ご夫妻が参加されました。大会には千人を超える方たちの参加があったようです。
高橋はるみ知事をはじめ多くの来賓の方々もお迎えされたようです。基調講演は川崎医療福祉大学学長の岡田喜篤先生の「重症児問題の原点」でした。重症児に大変ご理解の深い先生のお話です。是非「両親の集い」の報告をお読みください。
また最終日に要望書も提案、採択されました。
「児者一貫制度の維持」や重症心身障害児施設への超重症児の受け入れや特別支援教育での医療的ケアの実施体制や重症児が通える通園施設の確保などの要望が盛り込まれています。

第三種郵便物承認　　ＨＳＫ　　通巻２３８８号　　2008年9月15日発行

参加された山本さんより感想が寄せられています。

先日、第45回重症心身障害児（者）を守る会の全国大会が北海道、札幌市に於いて開催され参加してきました。

北海道は梅雨もなく、天気も晴れ、温度も23度前後とすっきりした天候でした。今回は遠い地でもあり、出席人数は少ないのではとの思いでしたが、1000人以上の参加があり、今子ども達に対する変革の波が押し寄せてきている危機感を感じともに集うことの大切さを思うとともに、重心の会に期待する思いが親たちの共通の願いと感じました。

１日目は講演の後、４分科会にわかれ、私は母親部会に参加しました。「親のこころ、子のこころ」と題して障害者と健常者の兄弟との接し方についての講演がありました。親は健常者の兄弟からの話しかけには、まず「あ～そう」と聞くことの大切さを教えていただきました。その後グループに分かれての話し合いがありました。

２日目の講演、式典に続いての意見発表は親の皆さんのご苦労に共感するとともに、その力強さに励まされたりもしました。

最後に要望書が採択されましたが、是非ともこの要望が厚生労働省、関係団体等で実施されることを切に願っています。

来年は東京で開催の予定です。みなさんぜひ一度は参加してみませんか。

Ｈ２０．７　　Ｈ．Ｙ

「昼食会」のお知らせ

毎日暑い日が続いておりますが、今年も会員のみなさまの親睦をはかるために「昼食会」を開催したいと思います。

日・時　　8月31日（日）　11時30分～

場　所　　すし処　大敷（金沢市西念３－５－２４）ＴＥＬ076－261-0041

駅西より車で5分　地図参照

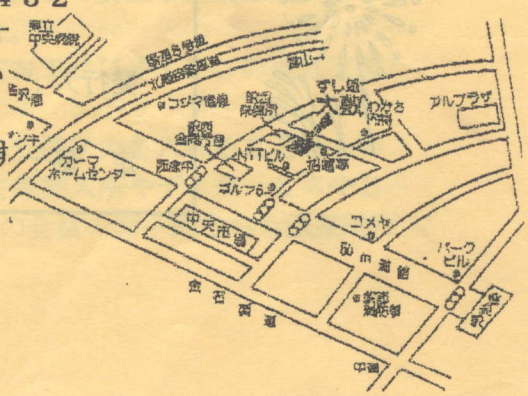
会　費　　4、000円

申し込み　川場あさ子　　０７６－２８１－２４１７

松本　康子　　０７６－２８３－４４３２

＊　申し込みは８月２０日までにお願いします

＊　８月最後の日曜日です。みんなでおいしい

＊　おすしを食べながら語り合いましょう！！

大勢のみなさまのご参加をお待ちしています